

フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州と日本：文化・技術・産業を軸に強まるパートナーシップ

フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州（FVG）への日本企業の進出から、大阪万博への地域参加に至るまで——両地域のパートナーシップは、着実にその結びつきを強めています。

生産投資、技術共有、グローバル・サプライチェーンへの統合。これらは近年、フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州と日本の関係を形づくってきた主要な軸です。このパートナーシップは、同州が日本の大手産業グループにとって魅力的な立地であることを裏づけています。堅固な製造業基盤、高度な人的資本、そして地中海と東欧市場を結ぶヨーロッパの中心という戦略的な立地条件を背景に、同州が日本の大手産業グループにとってイタリアおよび欧州の競争力ある拠点であることを改めて示しています。

フリウリ地域に進出する日本企業

FVG と「日の出ずる国」日本の協力関係は、単なる商業取引にとどまらず、安定的な産業拠点の設立や高付加価値人材の育成へと発展しています。

その代表例が、電動モーターおよび関連部品を製造する Nidec です。同社は 2010 年にポルデノーネの中小企業を買収し、事業拡大を推進するとともに、地域の雇用創出だけでなく、工学・電子分野における高度な専門技術の発展にも貢献してきました。また、先端材料および化学技術分野で事業を展開する多国籍企業の旭化成も、FVG 州内に生産拠点と研究施設を構え、地域の成長戦略と整合した持続可能性重視の開発を進めています。

さらに、伊日企業間の最新の協業事例として、トリエステ・インテルポルトと、イタリアのダニエリ社と日本の品川リフラによる合併会社 Shinagawa Danieli Advanced Materials との連携が挙げられます。両社は昨年 12 月、トリエステのバニョーリ・デッラ・ロザンドラ自由港区における新たな生産・流通拠点の建設に関する覚書を締結しました。投資額は約 2 千万ユーロと見込まれ、稼働後は 40 名以上を雇用、年間 1 万トン超の生産能力を有し、売上高は約 3 千万ユーロに達すると予想されています。

これら日本企業の存在は、単なる経済投資にとどまらず、品質、精度、イノベーシ

ョン、そして未来志向といった共通の価値観に基づく、深い協力関係の象徴でもあります。

大阪万博から「サローネ・デッロ・ストゥーディオ・イン・イタリア」へ

制度面においても、フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア州は、日本との関係強化を目的に、各種機関、商工会議所、行政機関との対話を進めるとともに、イベント、企業ミッション、二国間協定を通じた連携を深めています。とりわけ、大阪万博への参加は大きな転機となりました。同万博において FVG 州は、イノベーション、ロジスティクス、先端製造業の欧州プラットフォームとして自らを発信しました。中でも、万博の枠組みで開催された「Selecting Italy」は、130 名を超える行政・企業関係者を集め、日本市場への重要な窓口となりました。これは、既存の関係を強化すると同時に、新たな協力の基盤を築く具体的な機会となり、FVG 州が欧州における信頼性の高い魅力的なパートナーであることを改めて印象づけました。

こうした交流は万博にとどまりません。FVG 州は、今秋初めて、東京で毎年開催される「サローネ・デッロ・ストゥーディオ・イン・イタリア」に参加予定です。同イベントは、日伊間の文化・教育交流を促進し、学生、教育機関、行政との直接的な対話を可能にする場です。

今後の課題は、これらの関係をさらに定着させ、国際市場における地域の競争力を高める新たな取り組みを推進することにあります。その一環として、2024 年 6 月に開始された FVG 州と大阪府との対話は、将来的に WHX（World Health Expo）への参加へと発展する可能性があります。WHX は、日本の最先端医療技術・医療サービスを世界に発信する国際展示会であると同時に、日本のヘルスケア市場への進出を目指すグローバル企業にとっての重要なプラットフォームです。このような機会は、日伊両国の関係をさらに強化し、新たな産業・技術パートナーシップの創出に寄与するものと期待されています。